



おかもと しげあき
岡本 重明
青嵐会



まちづくりについて

- 問** 高齢者・障害者向け市営住宅の整備の意向は。
- 答** 具体的な整備予定はない。将来的な住宅需要や民間事業者の供給動向を踏まえた上で考えていく。
- 問** シルバーハウジングでは、9名が入居待ちだが、最も長い待機者の入居申し込みはいつなのか。
- 答** 福祉の里住宅に申し込まれた方で、平成23年。
- 問** 高齢者や障害者等が生活利便性の高い地域で暮らせる環境整備についての考えは。
- 答** 需要を踏まえた上で、市街化区域内に設定した居住誘導区域に民間等さまざまな手法により住環境を整備・誘導していくことが大切と考える。

市が出資した団体の財務管理について

- 問** 株式会社あつまるタウン田原の株式価値をどのように把握し、財務管理を行っているのか。
- 答** 算出には一定の事務コストが必要なため、株式の評価までは行っていない。市と協働でまちづくりに取り組む会社で、市として経営に参画し、経営

状況を把握することで、財務管理は足りていると考える。

- 問** 株式会社あつまるタウン田原は、純資産3億6,000万円を持っているが、単純に発行株数で割ると一株当たり18万円となる。5万円が18万円に関して評価するのが最低でも必要だと思うが。
- 答** 今のところ株式の評価までは行っていない。
- 問** 株式会社あつまるタウン田原は、指定管理業務で収益を上げる会社と見ることができているが。
- 答** 所有する建物のテナント収入やセントファーレ内の直営店舗の売り上げなどで着実に収益を上げている会社と認識している。
- 問** 指定管理が主な収益源である事業形態であれば、税を別会社にストックさせるという構造に見えるが。
- 答** 独自事業により利益を上げている会社である。利益を配当することも可能だが、将来に向けてまちづくりを進めるために内部留保の形を取っている。税を別会社にストックさせる構造とは考えていない。

- 問** 2027年3月に横浜で国際園芸博覧会が開催される計画がある。このような機会を捉えて、「花といえば田原市」と一般の方が連想するくらいの認知度を向上させるべき施策が必要だと考える。市としてどのような関わりを持つのか。
- 答** 田原市の花きの魅力を国内外に広くアピールできる絶好の機会であると考え。博覧会の情報収集に努め、生産者や花き関係者と連携して、参加に向けての検討や準備を行っていきたいと考えている。

